



F A 0 3 0 3



提出用

(令和元年分以降用)

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

令和 0 年分収支内訳書(一般用)

(あなたの本年分の事業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

住 所				フリガナ氏 名	㊦	依頼税理士等	事務所所在地	
事業所所在地				電 話 番 号	(自 宅) (事業所)		氏 名 (名称)	
業 種 名		屋 号		加 入 団 体 名			電 話 番 号	

令和 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

○給料賃金の内訳

氏 名	(年齢)	従事月数	給 料 賃 金 与 賞	合 計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	(歳)	月	円	円	円
	(歳)				
	(歳)				
その他 (人分)					
計	延べ従事月数		㊦		

○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	本 年 中 の 報 酬 等 の 金 額	左 の うち 必 要 経 費 算 入 額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	円	円	円

○事業専従者の氏名等

氏 名	(年 齢)	続 柄	従 事 月 数
	(歳)		月
	(歳)		
	(歳)		
			延べ従事月数

【税務署整理欄】

㉑	
㉒	
㉓	
㉔	
㉕	
㉖	

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
収 入		経 費	
売上(収入)金額 ①		旅費交通費 ㊥	
家事消費 ②		通 信 費 ㊦	
その他の収入 ③		広告宣伝費 ㊧	
計 (①+②+③) ④		接待交際費 ㊨	
期首商品(製品)棚卸高 ⑤		損害保険料 ㊩	
仕入金額(製品製造原価) ⑥		修 繕 費 ㊪	
小 計 (⑤+⑥) ⑦		消 耗 品 費 ㊫	
期末商品(製品)棚卸高 ⑧		福利厚生費 ㊬	
差引原価 (⑦-⑧) ⑨			
差 引 金 額 (④-⑨) ⑩			
経 費			
給料賃金 ㊭			
外注工賃 ㊮			
減価償却費 ㊯			
貸 倒 金 ㊰			
地 代 家 賃 ㊱			
利子割引料 ㊲			
租 税 公 課 ㊳			
荷造運賃 ㊴			
水道光熱費 ㊵			

(令和元年分以降用)

○売上(収入)金額の明細

売 上 先 名	所 在 地	売 上 (収 入) 金 額
		円
上 記 以 外 の 売 上 先 の 計		
右記①のうち 軽減税率対象	うち	円 計 ①

○仕入金額の明細

仕 入 先 名	所 在 地	仕 入 金 額
		円
上 記 以 外 の 仕 入 先 の 計		
右記⑥のうち 軽減税率対象	うち	円 計 ⑥

○減価償却費の計算

減 価 償 却 資 産 の 名 称 等 (繰延資産を含む)	面 積 又 は 数 量	取 得 年 月	① 取 得 価 額 (償却保証額)	② 償 却 の 基 礎 に なる 金 額	償 却 方 法	耐 用 年 数	③ 償 却 率 又 は 改定償却率	④ 本 年 中 の 償 却 期 間	⑤ 本 年 分 の 普 通 償 却 費 (②×③×④)	⑥ 特 別 償 却 費	⑦ 本 年 分 の 償 却 費 合 計 (⑤ + ⑥)	⑧ 事業専 用割合	⑨ 本年分の必要 経費算入額 (⑦×⑧)	⑩ 未償却残高 (期末残高)	摘 要
		年 月 ・	円 ()	円		年		月 — 12	円	円	円	%	円	円	
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
計								— 12					⑬		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ④欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○地代家賃の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	賃 借 物 件	本 年 中 の 賃 借 料 ・ 権 利 金 等	左の賃借料のうち 必要経費算入額
		権 更 賃	円
		権 更 賃	

○利子割引料の内訳 (金融機関を除く)

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	期 末 現 在 の 借 入 金 等 の 金 額	本 年 中 の 利 子 割 引 料	左のうち必要 経費算入額
	円	円	円

◎本年中における特殊事情

令和 00 年分収支内訳書(一般用)

(あなたの本年分の事業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

記帳と帳簿書類の保存義務について

- 事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方は、平成26年1月から、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。
- 帳簿を備え付けて、収入金額や必要経費について、取引の年月日や金額等を記帳しなければなりません。
 - 帳簿や請求書・領収書などの書類を整理して保存しなければなりません。

住 所				フリガナ氏 名	Ⓔ			依頼税理士等	事務所所在地
事業所所在地				電 話 番 号	(自 宅) (事業所)			氏 名 (名称)	
業 種 名		屋 号		加 入 団 体 名				電 話 番 号	

令和 年 月 日 (自 00 月 00 日 至 00 月 00 日)

0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○申告には、必ず提出用を使ってください。

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
収入金額		経費	
売上(収入)金額①		旅費交通費②	
家事消費②		通 信 費③	
その他の収入③		広告宣伝費④	
計(①+②+③)④		接待交際費⑤	
期首商品(製品)棚卸高⑤		損害保険料⑥	
仕入金額(製品製造原価)⑥		修 繕 費⑦	
小 計(⑤+⑥)⑦		消 耗 品 費⑧	
期末商品(製品)棚卸高⑧		福利厚生費⑨	
差引原価(⑦-⑧)⑨			
差 引 金 額(④-⑨)⑩			
経費		経費	
給料賃金⑪			
外 注 工 賃⑫			
減 価 償 却 費⑬			
貸 倒 金⑭			
地 代 家 賃⑮			
利 子 割 引 料⑯			
その他の経費			
租 税 公 課⑰			
荷 造 運 賃⑱			
水道光熱費⑲			

○給料賃金の内訳

氏 名 (年齢)	従事月数	給 料 賃 金 与 賞	合 計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
(歳)	月	円	円	円
(歳)				
(歳)				
その他 (人分)				
計	延べ従事月数		⑪	

○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	本 年 中 の 報 酬 等 の 金 額	左 の うち 必 要 経 費 算 入 額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	円	円	円

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年 齢)	続 柄	従 事 月 数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数		00

○売上（収入）金額の明細

売 上 先 名	所 在 地	売 上（ 収 入 ） 金 額
		円
上 記 以 外 の 売 上 先 の 計		
右記①のうち 軽減税率対象	うち	円 計 ①

○仕入金額の明細

仕 入 先 名	所 在 地	仕 入 金 額
		円
上 記 以 外 の 仕 入 先 の 計		
右記⑥のうち 軽減税率対象	うち	円 計 ⑥

○減価償却費の計算

減価償却資産 の 名 称 等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 年月	① 取得価額 (償却保証額)	② 償却の基礎 になる金額	償却 方法	耐用 年数	④ 償却率 又は 改定償却率	③ 本年中の 償却期間	⑤ 本年分の 普通償却費 (②×④×③)	⑥ 特 別 償 却 費	⑦ 本年分の 償却費合計 (⑤ + ⑥)	⑧ 事業専 用割合	⑨ 本年分の必要 経費算入額 (⑦ × ⑧)	⑩ 未償却残高 (期末残高)	摘 要
		年 月 ・	円 ()	円		年		月 12	円	円	円	%	円	円	
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
計								12					⑬		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ④欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○地代家賃の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	賃 借 物 件	本 年 中 の 賃 借 料 ・ 権 利 金 等	左の賃借料のうち 必要経費算入額
		円 権更 賃	円
		円 権更 賃	

○利子割引料の内訳（金融機関を除く）

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	期 末 現 在 の 借 入 金 等 の 金 額	本 年 中 の 利 子 割 引 料	左 の うち 必 要 経 費 算 入 額
	円	円	円

◎本年中における特殊事情

○この用紙は
控
用
です。
申告には、必ず
提出用
を使
っ
て
く
だ
さ
い。